

平成24年度 第1回柴田町まちづくり提案制度
審査結果報告書

平成24年8月3日

柴田町まちづくり提案審査会

I 申請から審査までの経過

- 1 第1回募集期間 平成24年6月1日(金)～6月30日(土)
- 2 申請件数 2件(意見提案1件、実践提案1件)
- 3 審査会審査概要
 - ① 日時 平成24年7月31日(火)
 - ② 審査員 柴田町まちづくり提案制度審査会委員 7名
 - ③ 審査方法 プレゼンテーション
- 4 認定方法 審査員による合議、採否の基準70%(得点率)

II 審査項目

審査にあたっては、以下の審査項目を設定し、その評価基準に照らして検討を行いました。

意見提案 ①公益性 ②必要性 ③実現可能性 ④発展普及性

実践提案 ①協働性 ②公益性 ③必要性 ④適格性 ⑤実現可能性 ⑥発展普及性

III 審査結果

1、総括

	応募件数	審査結果		備考
		採択	非採択	
意見提案	1件	—	—	審査の過程で、提案内容が既存制度「柴田町日常生活用具給付事業」で実施可能であると判明したため、提案の採否は決定せず、給付事業活用による実施へ向けて、提案者と福祉課、事務局で今後調整すること。
実践提案	1件	1件	—	

2、個別結果

(1) 意見提案

提案名	目で見える町の情報	提案者	未永はるみ	結果 (得点率)	—
【審査会意見】 審査会では、生活用具給付事業の周知をもっと図ること、その制度の活用について福祉課と事務局と提案者で調整すること、その上で更にアイデアがあれば提案者から再度提案を出してもらおう、という意見でまとまりました。 (各委員の審査シート記載意見) ・類似制度があるので、その制度を知らしめる事と、今回の意見とを調整してみるのが前提。 ・障害者数で決めるべきではなく、人数が少ない障害者だからこそ行政が考えるべき。簡単に切り捨					

てるべきではない。

- ・実現に向けて福祉課と調整願いたい。
- ・提案時は本当は何の情報が欲しかったのでしょうか。欲しい情報に対する手段をきちんと考えるべきと思います。
- ・他の制度との整合性を考慮し、検討すべし。現在ある機能活用で目的達成可能と思う。
- ・福祉的な考えで町がやるのならよいと思う。それだけ特化できるか？

(2) 実践提案

提案名	地域史編纂「写真で見る上川名の移り変わり」の発刊	提案者	上川名地区活性化推進組合	結果 (得点率)	採択 (74%)
町に期待する役割	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究にあたっての助言、指導及び資料等の提供。 ・冊子「写真で見る上川名の移り変わり」の印刷製本費の助成。 	予算計画	事業費：500千円 内容：A4版 カラー 80ページ 300部の印刷 ※補助額：事業費の1/2以内		

【審査会意見】

審査会では、本提案を採択するという事でまとまりました。

(各委員の審査シート記入意見)

- ・印刷の作業に入る前にPCでレイアウト等検討する工程があると思います。この工程で制作する資料をCDに落とすことも考えて欲しいと思います。CDにすることで動画・ナレーションも入れることができる。
- ・地域活動としての努力に対しては頭が下がる思いがあるが、地域への影響を今後どのように発展させられるのか期待したい。
- ・組合の一部内に対して評価するのに疑問有り。町の郷土として作成すべきではないか。

3、審査表

提案名		審査員	審査員	審査員	審査員	審査員	審査員	審査員	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
地域史編纂「写真で見る上川名の移り変わり」の発刊	得点 (満点:50)	44	20	42	37	39	40	—	合計 222
	得点率	88%	40%	84%	74%	78%	80%	—	平均 74%

※審査の採否は、得点率70%以上を採択の基準とし、最終的には審査会で決定する。